

観光バスが乗用車に追突

1人死亡、14人重軽傷

バスの男性運転手に、禁錮2年

考え事をしていて、約15秒間前方注視をおろそかにし
事故を引き起こして過失の程度は大きい

「バスを運転することは乗客だけでなく周りの人の命を預かっていること」

「気を付けて運転してほしい」

2019/10/3(木) 12:12

滋賀県の名神高速道路で観光バスが乗用車に追突し、1人が死亡した事故で、地方裁判所はバスを運転していた男性に対し、禁錮2年の実刑判決を言い渡しました。男性被告(52)は今年5月、観光バスを運転中に前方の車に衝突して女性(当時58)を死亡させた罪などに問われています。検察によると、この事故では他にも14人が重軽傷を負いました。

10月3日の判決で地裁は「考え事をしていて、約15秒間前方注視をおろそかにし事故を引き起こして過失の程度は大きい」と指摘しました。

そのうえで「高速道路でバスを運転することは乗客だけでなく周りの人の命を預かっていること。気を付けて運転してほしい」と話し被告に禁錮2年を言い渡しました。

4メートル下の沢にトラクター転落、男性死亡

◇重機、農機具の積み下ろし作業時◇

◇地面の水平を確認し、登坂板から外さないように注意しましょう◇

2019/10/04 01:15

3日午後6時10分ごろ、洞爺湖町の農業の男性(81)方付近の沢にトラクターが転落したのを付近の住民が見つけ、119番した。男性はトラクターの運転席でハンドルなどに挟まれた状態で発見され、搬送先の病院で死亡が確認された。伊達署によると、沢の高低差は約4メートルだった。男性がトラクターの運転操作を誤って沢に転落したとみて調べている。

昼1時 幕別町 自宅前ではねられ死亡

Uターンしようとした軽自動車にはねられ

「アクセルとブレーキを踏み間違えた」

◇「昼食後」の…「ぼーっと運転」 要注意◇

2019年10月03日 19時50分

3日午後1時すぎ、幕別町札内北町で、自宅前の花壇にいた女性(82)が、目の前の道路でUターンしようとした軽自動車にはねられ頭などを打って死亡しました。警察は、軽自動車を運転していた近くに住む男性容疑者(73)をその場で逮捕しました。警察の調べに対して、「アクセルとブレーキを踏み間違えた」と話している。